

7月 はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

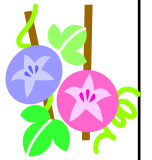
令和3年6月30日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

<http://shinmaizuru.maizuru.ed.jp>



★☆☆☆☆ 人に喜んでもらえることを ★☆☆☆☆

1年生の朝顔、2年生のトマトやキュウリなどの夏野菜、3年生のホウセンカ、4年生のゴーヤ、そしてひまわり学級の万願寺甘とうやナスなどが、夏の日差しを浴びてすくすくと育っています。中には、実がなり、子どもたちが収穫を楽しんでいる野菜もあります。

いよいよ7月。ようやく緊急事態宣言が解除になり、音楽の歌やリコーダー、家庭科の調理実習などの教育活動を3密に気を付けながら始めています。子どもたちの明るい歌声を聞くと元気が出ます。子どもたちが楽しそうに活動を進めているのを見ると、思わず笑みがこぼれます。

様々な活動を始めていますが、今年度も水泳学習は行うことができません。ただ、プールの水を循環させる機械が2年間動いていないので、メンテナンスのためにプールの水を入れ替えることにしました。当初、プールの中の掃除のみ職員で行うことを計画していましたが、6年生の児童が掃除を買って出てくれました。自分たちは入れないと分かっているのに、2年分の汚れを落とし、来年度下級生が気持ちよく入れるようにと。うれしい申し出でした。

そして6月22日(火)、2クラスずつに分かれ、いざ掃除が始まりました。2年間分の汚れです。汚れがこびりついているところ、少しぬるっとしているところ、子どもたちは本当に一生懸命、こすり続けていました。誰も手を抜くことなく、きれいになった所を見ては満足げな顔をし、次の場所の掃除を始めるのです。彼らの行動や表情に感心させられました。きっと下級生に喜んでもらえるのを思いながら、掃除を続けていたのでしょう。自分たちのしていることが役に立っていると実感していたのかもしれない。もちろん、下級生は掃除が終わったプールを見て、「プールがきれいになった。」と驚きと喜びの声を上げていましたし、感謝の気持ちを伝えていた子もいました。6年生の自己有用感につながる素敵な活動になりました。



6月には他にも全校児童が取り組んだ素敵な活動がありました。それは、児童会が中心になって取り組んだ「自分もみんなも安全第一 ゆっくり歩こう かたつむりチャレンジ」。キャラクター募集の取り組みには、掲示板には張り切ることができないほどたくさんの作品が集まりました。「これ、わたしの(作品)」「これ、かわいい。」と掲示板の前で楽しそうに話す姿もあります。選ばれた作品が児童会本部役員によって大きく描かれ、今、各階の廊下の真ん中に並んでいます。「廊下は歩くんやで。」子どもたちが声を掛け合う様子も見られるようになりました。



「ありがとう」と言われるとうれしくなります。そして「人に喜んでもらえる」ことが行動の意欲につながります。「ありがとう」の輪が広がり、自己有用感が培われる学校にしていきたいと思えます。子どもたちの何気ない「やさしい」行動を見逃さず、「ありがとう」を伝えていきたいものです。

1学期もあとわずか。学習のまとめも始まっています。7月も元気に過ごせるよう体調管理をよろしくお祈りします。

校長 小森 昌子